強い東北の創造
【「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進】

国土構造の骨格を形成し、地域ブロックの自立的な発展や地域間の交流連携を図るとともに、物流の効率化等を図るため、高規格幹線道路及び地域高規格道路などの規格の高い道路ネットワークについて、投資効果を最大限に発揮できるよう重点的かつ効率的に整備を進めます。

平成１６年度末までに新たに約５０kmの自動車専用道路の供用を図ります。

【延長(km)】

		全体計画	H15末まで	H16供用予定	H16末まで
高規格幹線道路	全国	14,000	8,537	203	8,740
	東北	2,204	1,337	33	1,370
地域高規格道路	全国	6,950	1,549	71	1,620
	東北	660	49	17	66

※平成16年度供用予定には、 平成16年4月14日開通予定の常磐自動車道 広野IC～常磐富岡IC（JH施工）L＝16kmを含む

【東北地方自動車専用道路ネットワーク】



下北半島縦貫道路
一般国道２７９号　有戸バイパス　L＝６km
全体事業費　約　130億円
H16事業費　1,140百万円

一般国道２７９号　野辺地バイパス　L＝３km
全体事業費　約　160億円
H16事業費　2,000百万円

八戸久慈自動車道
一般国道４５号　八戸南環状道路　L＝４km
全体事業費　約　480億円
H16事業費　1,460百万円

三陸縦貫自動車道
一般国道４５号　大船渡三陸道路　L＝９km
全体事業費　約1,020億円
H16事業費　2,850百万円

東北中央自動車道に並行
一般国道１３号　湯沢横手道路　L＝４km
全体事業費　約1,150億円
H16事業費　5,470百万円

仙台南部道路
仙台南ＩＣ
全体事業費　約400億円
H16事業費　450百万円
（有料道路事業分を含む）

福島空港・あぶくま南道路
(主)矢吹小野線　L=８km
全体事業費　約　310億円
H16事業費　4,000百万円

強い東北の創造
【グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備】

異なる交通機関を相互に連絡し、様々な交通需要に対応し、利用者の視点に立った交通機関の連携強化や移動の連続性の強化を図ることを目的にした「交通結節点改善事業」を推進しています。このうち、国内外の観光交流の増進や経済の活性化を図るため、全国でも初の試みとして、**空港での「交通結節点改善事業」を進めます。**

青森空港地区交通結節点改善事業

青森県では、滑走路3000m化（平成17年目標）やアクセス道路整備が進められている青森空港について、駐車場不足の解消と冬期の積雪対策等の利便性の向上を目的に青森空港における交通結節点改善事業を**平成１６年度より新規事業化し、早期改善に向け事業を進めます。**

全体事業費：約13億円　　平成16年度事業費：246百万円



▲駐車場が狭く満車状態



▲冬期の駐車場の状況



▲青森空港ターミナルビル付近の整備イメージ

強い東北の創造
【グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備】

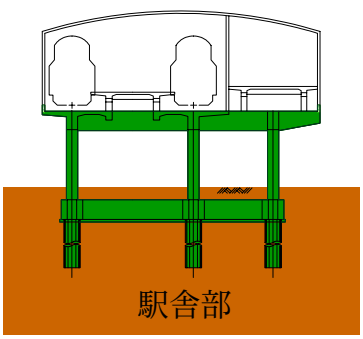
仙台空港アクセス鉄道　仙台空港駅（仮称）駅舎部（宮城県名取市）　（平成１６年度完成）

仙台空港までのアクセス性の向上を図るため、定時性、速達性、広域性に優れ、かつ大量輸送が可能なアクセス鉄道の整備を、平成18年度の全線開通を目指し進めています。**平成１６年度は、空港内駅舎部（整備局実施分）の完成を図ります。**

全体事業費（直轄分）　約60億円　　平成16年度事業費　2,448百万円



▲仙台空港アクセス鉄道
駅舎部施工位置

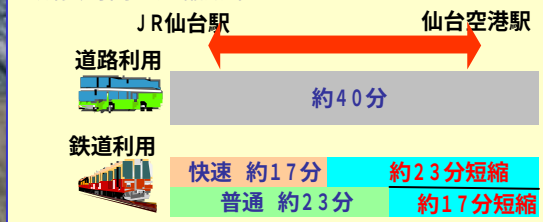


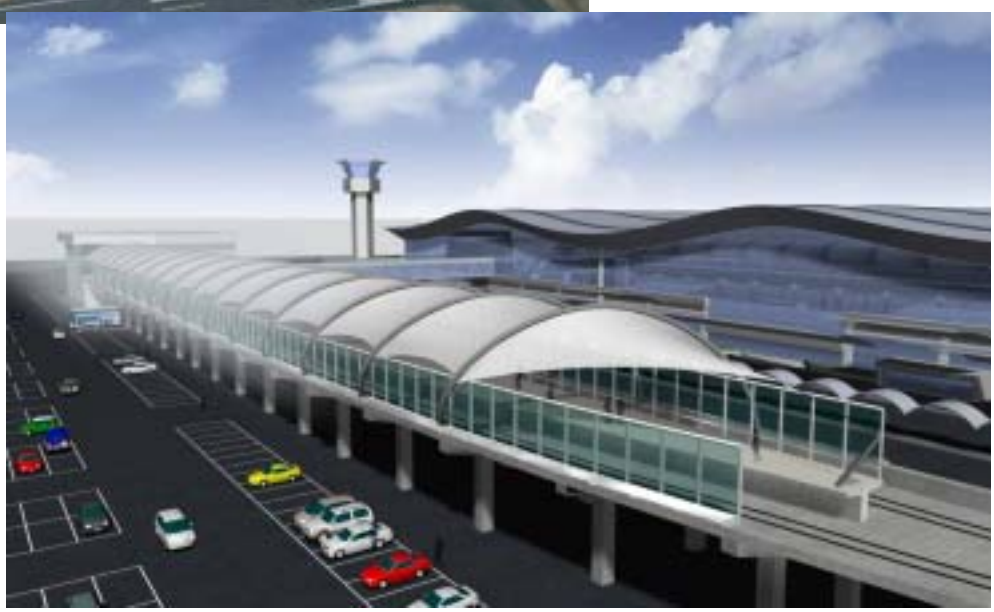
：東北地方整備局施工

平成１８年度供用予定

全長約7.1kmのうち空港敷地内約1kmを整備

所要時間の短縮効果





▲完成予想図

強い東北の創造
【グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備】

石巻港雲雀野（ひばりの）地区岸壁（水深１３m）
（宮城県石巻市・桃生郡矢本町）　（平成１６年度完成）

石巻港では、近年の船舶の大型化に対応し物流の効率化を図るため、大水深の多目的国際ターミナルの整備を進めています。

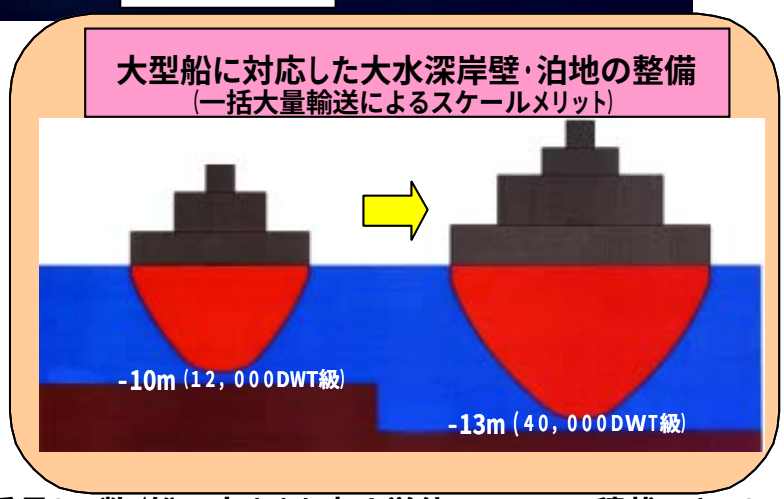
水深13mの岸壁及び航路･泊地の整備を進めており、臨海部産業等の設備投資とこれに伴う雇用創出による地域の活性化が期待されます。

平成16年度は岸壁の完成を図ります。

水深13m岸壁

全体事業費　約77億円　　平成16年度事業費　640百万円





DWT：載貨重量トン数（船の大きさを表す単位の一つで、積載できるトン数）

強い東北の創造
【グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備】

秋田港向浜（むかいはま）地区岸壁（水深１２ｍ）
（秋田県秋田市）　（平成１６年度完成）

秋田港向浜地区において、近年の船舶の大型化の要請に対応し、物流コストの低減と地場産業の競争力強化を図るため、水深12mの岸壁を整備し、**平成16年度の完成を図ります。**

水深12m岸壁

全体事業費　約16億円　　平成16年度事業費　460百万円



物流コストの低減



現　在	完成後
12,000DWT級 （水深１０ｍ）	30,000DWT級 （水深１２ｍ）

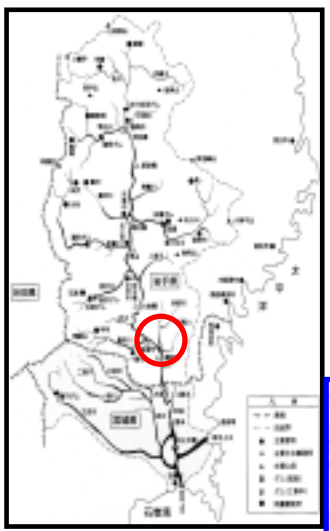
DWT：載貨重量トン数（船の大きさを表す単位の一つで、積載できるトン数）

安全で安心できる地域づくり
【あらゆる災害に強い安全な地域づくり】

砂鉄川（さてつがわ）床上浸水対策特別緊急事業
（岩手県東磐井郡川崎村）　（平成１６年度完成）

平成１０年８月洪水、平成１４年７月洪水（台風６号）等により甚大な被害を受けた**砂鉄川**では、国、岩手県、東山町、川崎村の連携により、床上浸水対策特別緊急事業（直轄）、災害復旧等関連緊急事業（直轄）、激甚災害特別緊急事業（補助）及び地方道改築事業を集中的に実施し、砂鉄川全体の治水安全度向上のため緊急的な治水対策を進めています。
この中で、下流部において重点的に整備を進めていた**「床上浸水対策特別緊急事業」の平成１６年度完成**を図ります。

全体事業費　約256億円　　平成16年度事業費　2,431百万円



平成14年7月洪水



整備の進む砂鉄川床上事業





砂鉄川緊急治水対策による整備効果

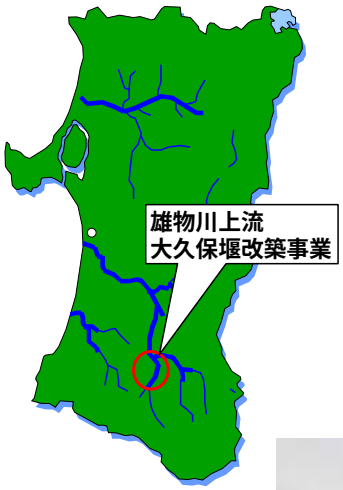
砂鉄川緊急治水対策業の完成により、平成１４年７月洪水で床上浸水した７４３戸、床下浸水した２２２戸、５２９haが浸水被害から解消されます。

安全で安心できる地域づくり
【あらゆる災害に強い安全な地域づくり】

大久保堰改築事業（特定構造物改築事業）
（秋田県湯沢市）　（平成１６年度概成）

明治３５年に築造された大久保頭首工は老朽化に加え、固定堰のため河道断面を著しく阻害しており、昭和６２年８月洪水では堰上げによる水位上昇の影響で堰上流側では浸水被害を受けています。このため、「特定構造物改築事業」として重点的に整備を進めている**「大久保堰改築事業」において、平成１６年度堰本体工事の完成**を図ります。

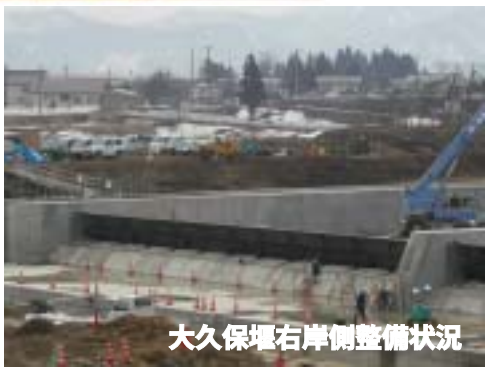
全体事業費　36億円　　平成16年度事業費　933百万円



S62.8洪水状況







大久保堰改築による整備後の効果

○治水（昭和６２年８月発生洪水被害） 氾濫面積：９０ｈａ・浸水家屋：４５戸	S62.8洪水と同程度の洪水が発生しても浸水被害はなくなる
○環　境（魚類の遡上） 片岸魚道・河床低下により魚類が迷走し遡上できない	両岸への魚道整備により、あらゆる魚種がより多く遡上可能となる
○川の姿（雄物川らしさ） 樹林化により川幅が狭く、礫河原がない	川幅を広げることにより昔の礫河原（雄物川らしさ）が復元される

安全で安心できる地域づくり
【あらゆる災害に強い安全な地域づくり】

阿武隈川摺上川ダム建設事業
（福島県福島市）　　（試験湛水中）

摺上川と阿武隈川の洪水調節や福島市他11町への水道用水、および阿武隈川沿岸等の農地へのかんがい用水の供給などを目的とする「摺上川ダム建設事業」を概成させ、**試験湛水を継続する**と共に、**付替国道の全線供用及び付替市道・林道を暫定供用**します。

全体事業費　約1,955億円　　平成16年度事業費　3,200百万円



▲試験湛水前の摺上川ダム



▲完成予想図



▲湛水開始　H16.2.19

▼湛水状況　H16.3.11



摺上川ダムの役割

- 洪水調節
- 河川環境保全等のための流量確保
- 水道用水及び工業用水の供給
- かんがい用水の補給
- 発電

★完成年度は、現計画より1年早めた平成17年度を予定

平成16年2月19日（木）摺上川ダムの試験湛水が無事予定どおり開始されました。

試験湛水とは、実際にダムに水を貯めることにより、ダム本体及び貯水池についての安全性を確認し、ダム管理体制へ支障なく移行することを目的として行われるものです。

今後、ダム本体及び貯水池の状況を監視しながら、徐々に水位を上昇させていき、平成17年春頃にダム計画上の最高水位まで到達させます。その後逆に徐々に水位を下げていき、平成17年夏頃にダム計画上の最低水位まで低下させ、約1年4ヶ月程度にわたる試験湛水を終了する計画となっています。

安全で安心できる地域づくり
【あらゆる災害に強い安全な地域づくり】

最上川水系　直轄地すべり対策事業「黒渕（くろぶち）地すべり」
（山形県最上郡戸沢村）　（平成１６年度完成）

最上川水系黒渕地すべりは、昭和５４年に直轄事業化し、地下水排除による抑制工及び鋼管杭打込みによる抑止工などを行ってきましたが、これらの対策工事により地すべり性の挙動が沈静化したことから、既設排水路の補修工事を実施し、**平成１６年度に完成させ、山形県への移管を行います。**

全体事業費　約87億円　　平成16年度事業費　105百万円









現在の黒渕地すべり地区の状況

地すべり地区における土地の有効利用として、地元自治体と連携しながら取り組んだ。

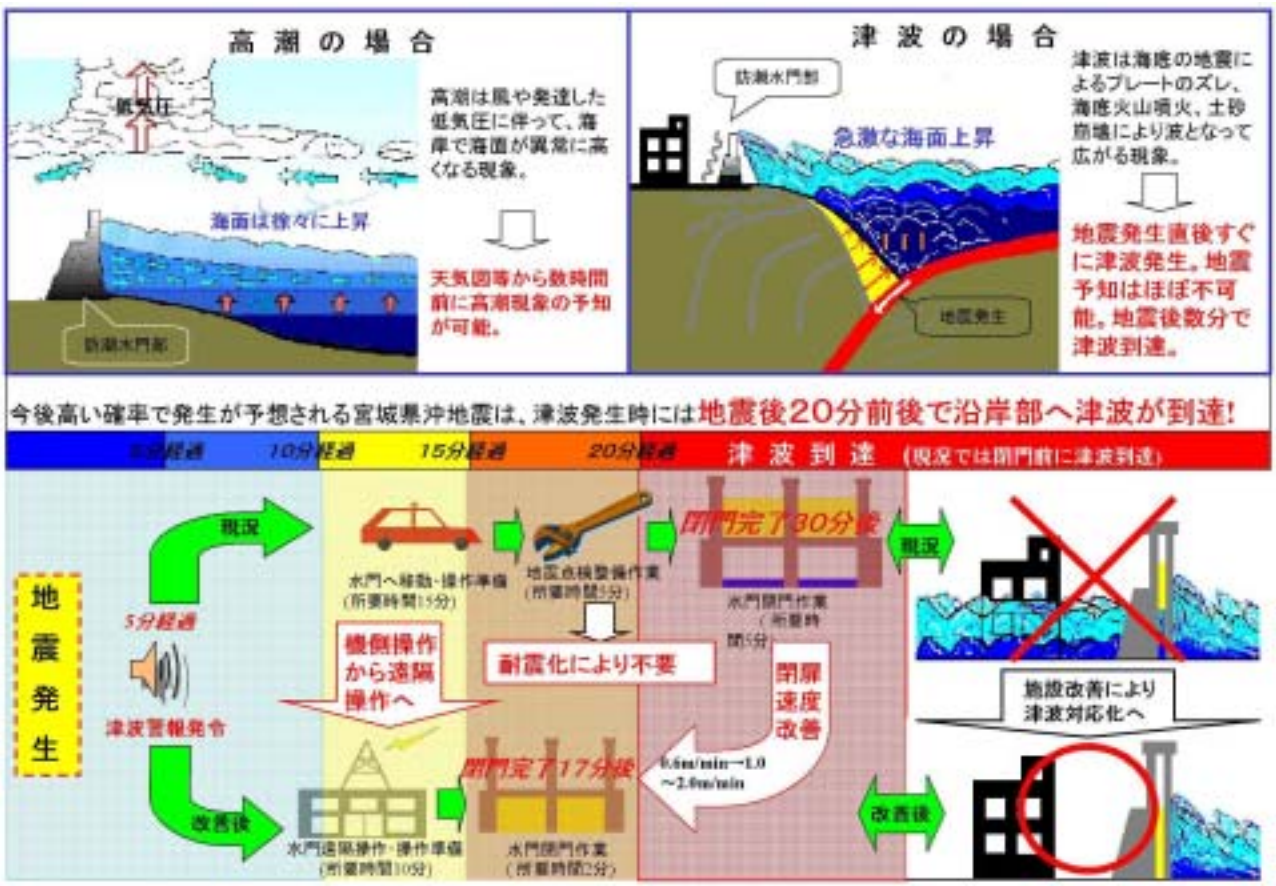
・物産館「高麗館」
・民俗資料館
・道の駅「とざわ」　など

安全で安心できる地域づくり
【あらゆる災害に強い安全な地域づくり】

水尻川（みずしりがわ）・新井田川（にいだがわ）地震・高潮等対策事業
（宮城県志津川町）　（平成１６年度新規）

今後高い確率で発生が予想される宮城県沖地震に備え、防潮水門本体の耐震及びゲート開閉速度の改善等に**平成１６年度より新規に着手します。**

全体事業費　約6.5億円　　平成16年度事業費　473百万円



【耐震化】
現況：耐震化なし ⇨ 地震時操作不能の恐れ
対策：躯体の巻き立て補強

【延命化】
現況：躯体、扉体劣化 ⇨ 老朽化による操作不能
対策：保護塗装、ひび割れ注入、脱塩処理

【速度改善】
現況：0.6m/min ⇨ 津波時閉門遅延による被害
対策：機械設備更新(モーター、ギア比改善等)

【遠隔操作】
現況：機側操作 ⇨ 門遅延による被害、操作員の被害
対策：通信設備を利用した門扉開門操作遠隔化

安全で安心できる地域づくり
【あらゆる災害に強い安全な地域づくり】

橋梁の耐震性向上を目指し、近い将来高い確率で起こるとされている**宮城県沖地震に備え、震災対策を進めます。**

これまで「こ線橋・こ道橋」をはじめとした二次被害の予想される橋梁の震災対策を優先的に行ってきておりますが、交通需要の多い仙台都市圏において河川を渡河する長大橋についても、震災対策に着手します。

一般国道４号　千代大橋震災対策

千代大橋は広瀬川に架橋された橋長310mの長大橋梁で、近年の交通量の増大、通行車両の大型化による損傷が進行していることから**震災対策と併せて補修による橋梁の長寿命化を図ることとし、平成１６年度に着手します。**

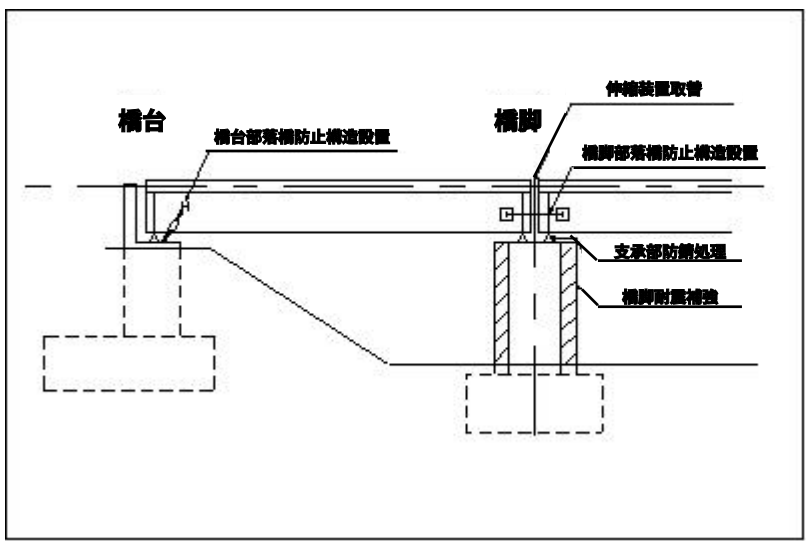
全体事業費：約４億円　　平成16年度事業費：１００百万円



▲千代大橋全景



▼補強・補修の概要



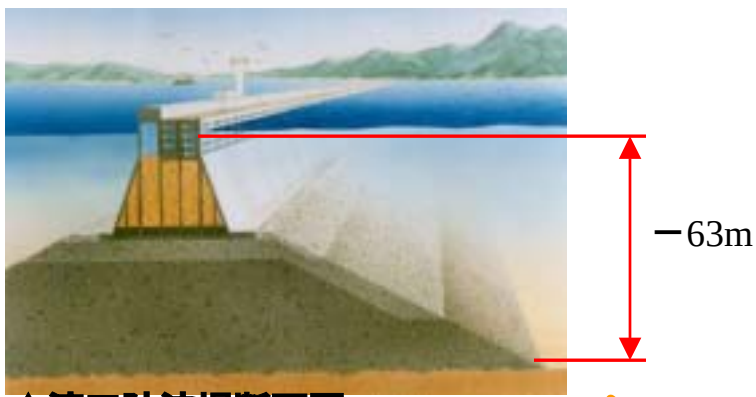
安全で安心できる地域づくり
【あらゆる災害に強い安全な地域づくり】

釜石港湾口地区防波堤
（岩手県釜石市）　（平成１６年度南堤部概成）

釜石港では、明治２９年、昭和８年の三陸津波、昭和３５年のチリ地震津波と、大津波による甚大な被害を受けてきた。

このため、恒久的な津波防護対策を図ると共に、港内静穏度確保による係留施設の荷役稼働率の向上、荒天時の船舶の避泊可能水域の確保を図るため、世界最大水深（－63m)の湾口地区防波堤の整備を進めており、**平成１６年度に南堤部（６７０m）の概成を図ります。**

全体事業費　約1,240億円　　平成16年度事業費　2,478百万円



▲湾口防波堤断面図



安全で安心できる地域づくり
【あらゆる災害に強い安全な地域づくり】

東北管区警察学校本館 耐震改修
（宮城県多賀城市）　（平成１６年度完成）

大地震時における建物の耐震安全性及び防災拠点施設としての機能を確保するため、**耐震補強を行い、平成16年度に完成を図ります。**

全体事業費　約2億円　　平成16年度事業費　約2億円



現況外観

耐震補強を行うことにより大地震時に建物の損傷を少なくし、**災害応急対策活動が円滑に行えるようになります。**

補強前　GIS=0.65

↓

補強後　GIS=1.01

（GISとは建物の耐震性を表す指標で1.0以上で耐震性を満足していることを示しています）

補強方法は
枠付き鉄骨ブレース を外側に取り付けます。
それにより
防災拠点施設としての機能を維持しながら（入居しながら）の工事が可能となります。
また、既存建物と補強ブレースの接合部に、効果的な応力伝達方法を採用し、**コスト縮減**を図ります。



完成予想外観

安全で安心できる地域づくり
【高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり】

青森県営・三沢市営　桜町（さくらまち）団地整備事業
（青森県三沢市）　（平成１６年度完成）

福祉施策と連携し、地域の高齢者サービス等の拠点となるような公営住宅整備事業を推進します。本事業は、厚生労働省と国土交通省連携施策であるシルバーハウジングプロジェクトにより整備を推進し、**平成16年度の完成を図ります。**

全体事業費　約14億円　　平成16年度事業費　824百万円



▲完成予想図

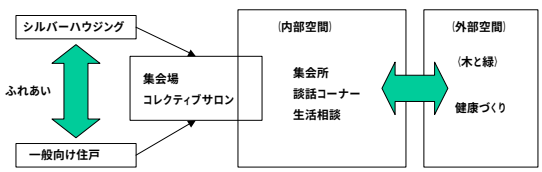
用途：公営住宅７０戸
（県営３５戸、市営３５戸）
うち高齢者単身向け住宅　２０戸
高齢者世帯向け住宅　９戸
特徴：ライフサポート
アドバイザーの配置
緊急通報システムの導入







▲住宅内部　バリアフリー化のイメージ



多世代の交流イメージ



安心で安心できる地域づくり
【高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり】

高規格幹線道路において救急車退出路を設けることにより、救急患者の搬送時間の短縮が可能になるなど、既存ストックの有効活用により救急医療活動を支援します。

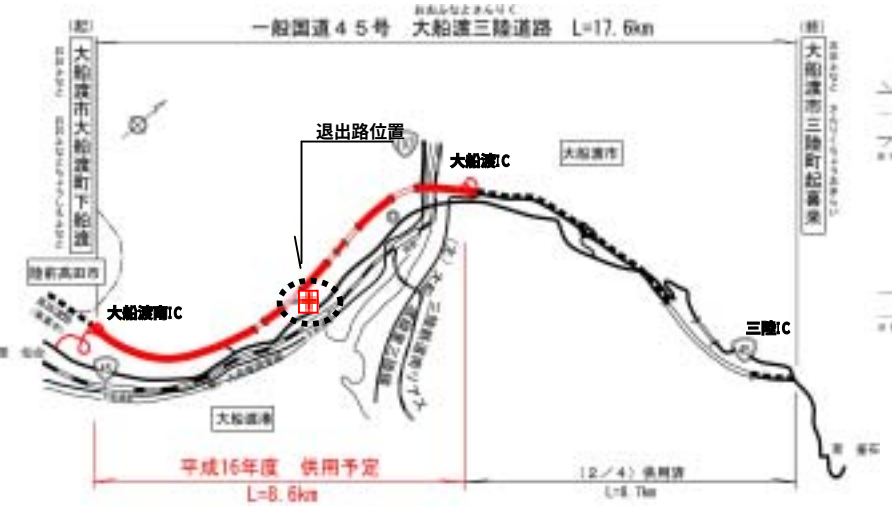
大船渡三陸道路においては、**全国で２例目(直轄で初めて)となる救急車退出路を平成16年度内の供用に合わせて設置**します。これにより、釜石方面から県立大船渡病院への搬送時間が約10分短縮されるなどの効果が期待されます。

一般国道４５号　三陸縦貫自動車道　大船渡三陸道路

大船渡三陸道路は、岩手県大船渡市大船渡町下船渡から同市三陸町越喜来に至る延長17．6kmの道路で、三陸縦貫自動車道の一部を構成する一般国道の自動車専用道路で、平成10年度迄に大船渡ICから三陸IC間の延長8．7kmを2車線で暫定供用しています。

大船渡南ICから大船渡IC間の延長８．６kmについては、平成１７年度の供用を目標に事業を進めてまいりましたが、補正予算等の投入により、供用を１年前倒しし、平成１６年度内の全線暫定２車線供用が可能となったものです。

全体事業費：約１，０２０億円　　平成16年度事業費：２，８５０百万円





【詳細図】



▲救急車退出路（山形道）



安全で安心できる地域づくり
【高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり】

幹線道路の安全性を高めるため、死傷事故率が高い**事故危険箇所（全国約4，000箇所、東北142箇所）を指定し、交差点改良等の事故抑止対策を集中的に進めます。**

平成16年度は、「新東交差点」など34箇所において対策事業を推進します。

一般国道４号　新東（しんひがし）交差点改良

新東交差点は、宮城県柴田郡大河原町新東地内における一般国道4号と県道亘理・大河原・川崎線との交差点です。当交差点は、車両相互、歩行者・自転車との事故が多発していることから、**事故危険箇所対策として、平成１６年度内の交差点改良の完成を図ります。**

全体事業費：約1．2億円　　平成16年度事業費：93百万円





▲福島方向を背に仙台方面を望む



安全で安心できる地域づくり
【高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり】

山形地方法務局 米沢支局　（山形県米沢市）
（平成１６年度完成）

地域に親しまれ、多雪・寒冷地に ふさわしく地域環境に配慮し、高度なバリアフリー化された拠点施設として、**“山形地方法務局米沢支局”庁舎を完成させます。**（法務省支出委任工事）

全体事業費　約8億円　　平成16年度事業費　約618百万円

構造：鉄筋コンクリート造
階数：2階建
述べ面積：約1967㎡
住所：山形県米沢市金池
7丁目4番12

置賜（おきたま）地方の気候風土をふまえた 施設

- **気候風土を考慮した景観づくり**
- **コスト及び環境を考慮した建物形態**
- **積雪を考慮した建物形態**
- **自然と共存したグリーンコート**

